

# 麴町中学校だより



第4号 令和6年6月5日発行

校長 堀越 勉



## 教育目標

自主性

社会性

創造性

## 6月は勉強モードに

6月18日(水)から20日(金)までの3日間は単元・題材テスト期間になります。麴町中学校全体が、勉強モードに突入していきます。6月3日には全教科のテスト範囲表が配られました。また、テストへの計画表もあります。2週間をどのように使って、目標を目指していくか?そして結果が出た後で、自分の取り組みを振り返る、こういった経験の繰り返して「主体的に学ぶ」ことのできる習慣やスキルが少しずつ身に付いていくと考えています。高等学校や大学に進学した後も、また社会に出た後にも生かすことのできる力を身につけていって欲しいと願っています。

### ①計画を立てよう

- ・計画表
- ・手帳
- ・カレンダー
- ・アプリ

などを使って、2週間分の計画を立てましょう



### ②勉強したら③振り返ろう



計画を毎回変更していく

計画通りできたら



自分で自分を褒めましょう



全校朝会でのプレゼンテーション

## 新たな3種類の学習プログラム

### 1 「放課後麴中塾」(拡充)

テスト前、勉強しながら質問できる環境を設定。テストに向けて、7時間目の時間帯に**もうひと頑張り**していく生徒に向けて、千代田区近隣の大学生が勉強のサポートをします。専門的な質問には、担当の先生たちが職員室に待機しています。

### 2 「シン麴中塾」(新規)

7月22日～26日、29日の午前9時～12時

8月26～29日の午前9時～12時

「学校で勉強できる夏休み」をテーマに新たな取り組みを開始します。大手学習塾のZkaiグループの「エデュケーショナルネットワーク」公民連携室との連携により、学習プログラムを実施します。10日間勉強できるチャンスがありますので、ぜひ挑戦してほしいと思います。

### 3 「イングリッシュコース」(新規)

7月22日～26日、29日の午後1時～3時

8月26～29日の午後1時～3時

英会話に特化した学習プログラムです。英語でのコミュニケーションに興味がある生徒を対象に、外国人ALTや日本人英語講師の授業、そして海外在住ALTとのオンライン英会話など様々な体験をしながら、英会話力を身に付けていきます。英語好きが多い麴町中にはピッタリです。

## 放課後麴中塾

- ・6月5日(水)から、放課後勉強できます
- ※設定日は別途連絡

### ・合同教室

- ・大学生が質問に答えてくれます



## 夏休みの新しい勉強の機会

- ①シン麴中塾
- ②イングリッシュコース

別途チラシで募集

## クラスの一体感！ ◆体育祭が変わってきた◆

今年度の体育祭は、これまでとは少し異なる光景がたくさん見られました。それは、クラス対抗種目（学年種目）への熱い思いです。練習開始当初は全校生徒に戸惑いがあったためか、クラスメイト全員の一体感の高まりが出来上がるのに時間がかかりました。そして迎えた本番では、担任の先生がクラスを鼓舞する様子や、それに応えようとする生徒の思いが伝わる競技となりました。声を掛け合う、助け合うなど、学校行事で味わえる醍醐味を、全校生徒が感じて、全力で競技に打ち込めたのではないかと考えています。



### 生徒の運営委員会が変えた体育祭運営

今年度の体育祭の変化の一つに、生徒の運営委員会の素早い動きがありました。総勢50名の運営委員が適切に役割分担を行い、係同士の連携が大変円滑に進んでいました。

体育祭の運営は、**招集、用具準備、放送、審判等の仕事が常に連動しています**。水が循環して流れるようにプログラムが進むためには、一つの係も滞ることなく進める必要があります。そして緊急対応には救護等の係が直ちに対応することも大切です。今回はこういった連携がうまく図られたため、全体の進行計画より20分程早く競技を進めることができました。

**熱中症対策**・・・体育祭では「WBGT 暑さ指数計」を2台設置し、当日の気温や湿度に関わる危険度の状況に注視しながら進行しました。救護係の生徒が定期的に指数を記録するとともに、必要な生徒には、経口補水液の提供や冷却を行いました。

### 麴町中学校のアルバムをめくる <コロナ禍の制約を受ける前の麴町中文化的行事>

新型コロナウイルス感染症の影響で、合唱や大人数での活動に制限がかかりました。麴中祭もできる範囲での取組に変化する歴史をたどってきました。昨年度の麴中祭では、「一部の生徒だけが出演している」「参加していない生徒の疎外感」などといった厳しいご指摘を頂いてきました。実際に、運営の生徒が15%、出演した生徒17%、展示に関わった生徒が8%であり、全校生徒の約6割が見学だけの学校行事となっており、大きな課題であると捉えています。そこで本年度は、全員が参加し主役となる文化的行事とするとともに、クラスが一体感をもって取り組めるようにしていきたいと考えています。1年生も、麴町中の次世代を担うリーダーとして、運営委員に積極的に応募してほしいです。



コロナ禍の直前までリーダーを中心とした団結や協力によって全員参加の文化的行事が運営されました



1990年頃



2000年頃